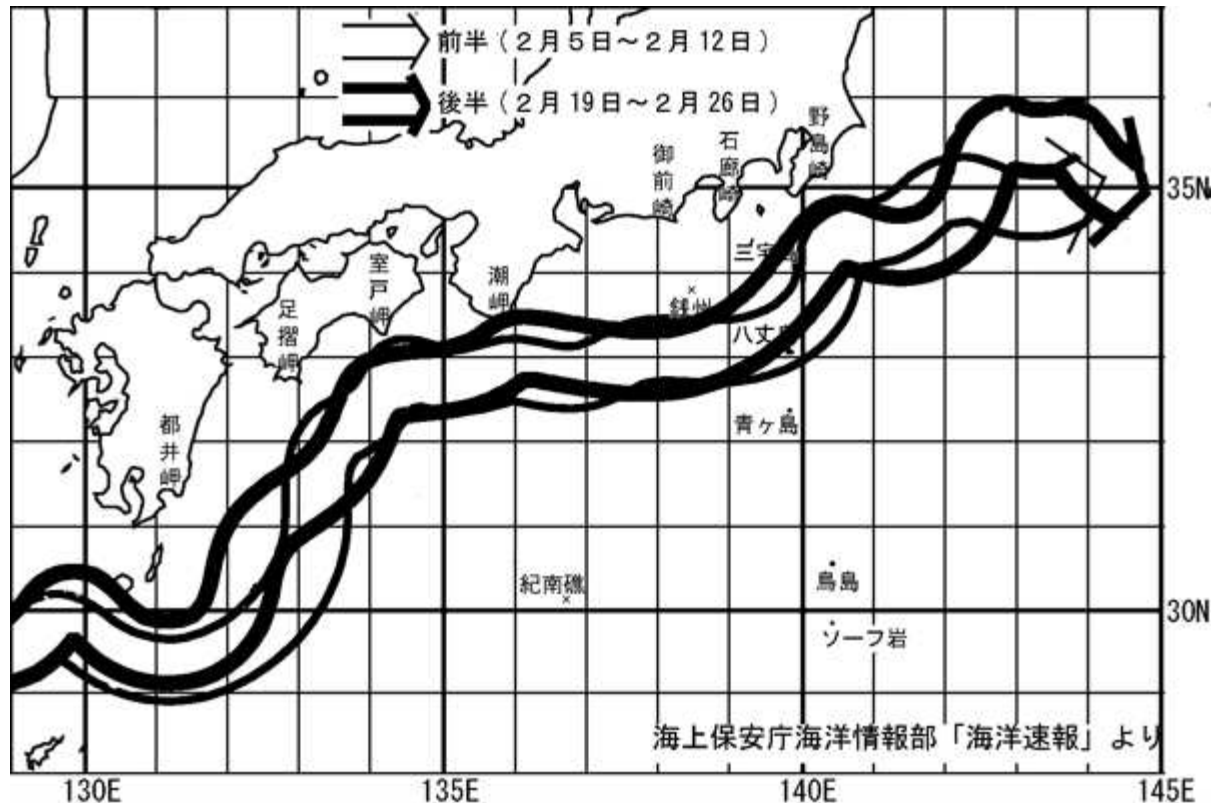


漁海況月報

平成20年2月1日

No. 2 ~ 2月29日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産技術研究所伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	13.5	14.7	14.2	14.1	14.4	14.3	10.9
	-0.4	0.3	0.4	-0.3	0.3	0.7	-0.5
中旬	13.5	14.5	13.6	13.5	13.7	14.0	10.3
	-0.4	0.3	-0.1	-0.8	-0.3	0.6	-1.4
下旬	13.3	14.2	13.3	13.9	13.0	13.8	10.4
	-0.3	0.1	-0.4	-0.5	-0.7	0.5	-1.3
月	13.4	14.5	13.7	13.8	13.7	14.0	10.5
	-0.4	0.2	0.0	-0.5	-0.3	0.6	-1.0

【黒潮流路】

月前半の黒潮は、九州東岸から足摺岬にかけて離岸し、室戸岬から潮岬にかけて接岸した後に33° N 付近を東進した。その後、大きく離岸することなく八丈島の北を通り房総半島沖を北東に流去した。

月後半の黒潮は、九州東岸から足摺岬にかけて離岸し、室戸岬から潮岬にかけて接岸した後に33° N 付近を東進した。その後、大きく離岸することなく八丈島の北を通り房総半島沖を東に流去した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では12~14°C台、駿河湾東部では12~14°C、駿河湾西部では9~14°C台で経過した。

月を通じて県下沿岸への顕著な暖水波及はなく、焼津を除くと各地ともやや低めから平年並みの水温で経過した。

【竿釣近海カツオ】

2月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は25トで前年同期の16%であった。魚価は419円/kgで、前年同期を上回った。

静岡県船は、東海神場、ハロース周辺海域で特大、大、大中カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量（県内主要5港）

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)	
20年2月	上旬	25	0	25.1	407
	中旬	0	0	-	-
	下旬	2	3	0.2	1350
20年2月計	25	2	12.7	414	
19年2月計	157	14	11.2	526	
18年2月計	539	25	21.5	283	

【定置網】

平成20年2月、伊豆半島東岸大型定置網8か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は152トンで、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量21.7トンは前年11.2トン（6漁場）の194%、平年値（昭和57~平成19年）22.5トンの96%であった。

魚種別水揚量は、①スルメイカ80.7トン（A：前年同月比467%、B：平年同月比705%）②カタクチイワシ33.7トン（A：184%、B：62%）③ホウボウ10.5トン（A：557%、B：796%）④マアジ5.5トン（A：前年140%、B：31%）⑤サバ類5.1トン（A：96%、B：114%）の順であった。

スルメイカは北川、富戸を中心に入網し、昭和57年以降で最も多く水揚げされ、外套背長のモードは25cmであった。カタクチイワシは、北川に集中的に入網し、被鱗体長は測定できなかったが12~13cmと推定された。ホウボウは川奈、古網を中心に入網し、昭和57年以降で最も多く水揚げされ、尾叉長のモードは30cmであった。マアジは赤沢、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは21cmであった。サバ類はゴマサバ中心で、北川、川奈、富戸を中心に入網し、尾叉長のモードは32cmにみられた。

漁場別水揚量は、北川 77 トン（スルメイカ、カタクチイワシ、サバ類中心）、富戸 25 トン（スルメイカ、カタクチイワシ、ホウボウ中心）、川奈 17 トン（スルメイカ、ホウボウ中心）の順であった。

【サバたもすくい棒受網】

小川港にはたもすくい、棒受網によってゴマサバ 882 トンが水揚げされた。棒受網の漁場は三宅島周辺海域に、たもすくいの漁場は三本周辺海域に形成され、棒受網、たもすくいともに尾叉長 25cm または 26cm にモードがみられるゴマサバ 1 歳魚（2007 年級群）と思われるものが漁獲の主体で、30cm を超えるものが若干混獲された。ゴマサバ 1kg 当たりの平均単価は 96 円であった。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1 隻当り (トン)	漁 場
平成20年 上旬	352	4	9	39.1	三宅、三本
2月 中旬	274	3	9	30.4	三宅、三本
下旬	256	2	6	42.7	三宅、三本
計	882	9	24	36.7	-----
平成19年2月	770	14	39	19.7	三宅、三本、利島～大室出し
平成18年2月	606	8	17	35.6	三宅、三本、御蔵

【まき網】

マイワシの水揚げは、小川港では 0.5 トンで昨年同期（4.9 トン）の 10%、平年同期（33.3 トン）の 1% と極めて低調であった。また、沼津港では 16.4 トンで昨年同期（89.7 トン）の 18%、平年同期（61.8 トン）の 26% と低調であった。伊東港、静浦港での水揚げはなかった。

注）平年同期：過去 5 か年（2003～2007 年）平均

【調査船の動向】

富士丸				
2月 1日	～	2月 20日	第5次南方カツオ航海調査	(20日間)
2月 28日	～	2月 28日	ドックのため回航	(1日間)
駿河丸				
2月 5日	～	2月 7日	地先定線観測（駿河湾、遠州灘、伊豆沖）	(2日間)
2月 18日	～	2月 19日	サバ調査（三宅島）	(2日間)
2月 20日	～	2月 20日	深層水調査	(1日間)
2月 21日	～	2月 21日	シラス曳網試験調査（駿河湾）	(1日間)
2月 25日	～	2月 26日	サクラエビ IKMT 調査（駿河湾）	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>
 携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>
 右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA による海面の水温分布画像を見ることができます。



おしらせ

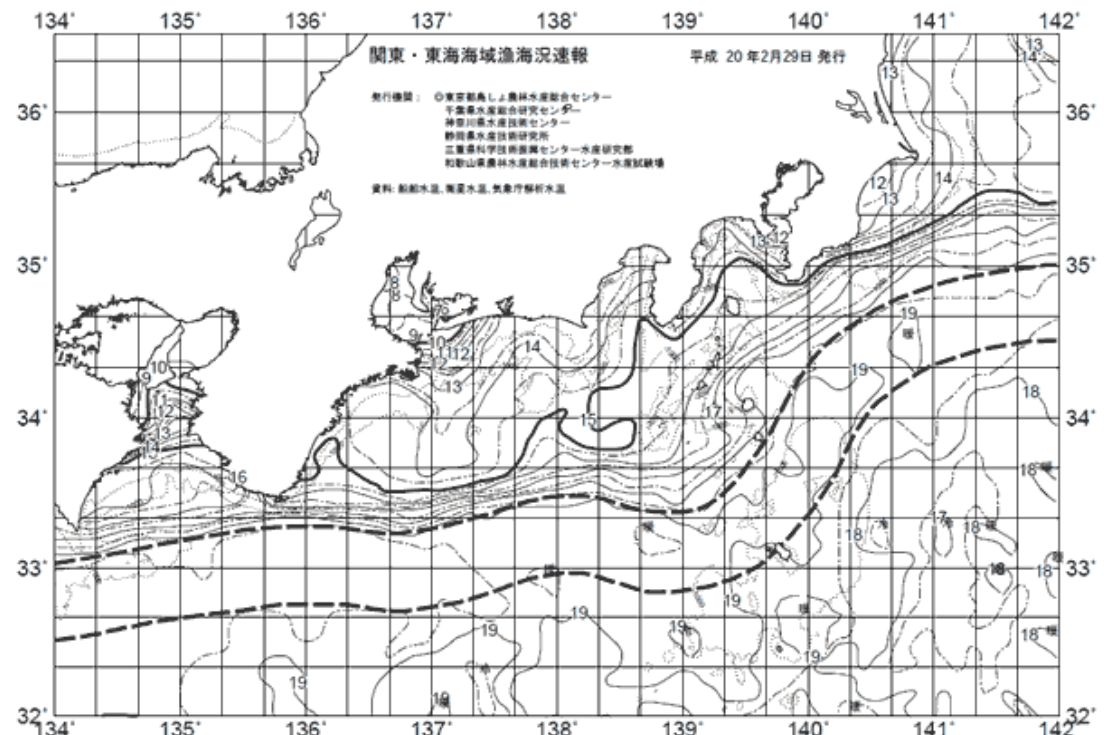
水産技術研究所のホームページでは、高精度で広範囲の海の様子が見える、「高精度海況図」の提供を始めました。この「高精度海況図」は、従来から発行している「一都三県漁海況速報」に替わって平成 20 年 4 月 1 日から正式に発行する予定です。

なお、「高精度海況図」は現在、試行期間中ですので、更新の遅れなどが生じた場合はご了承ください。

この「高精度海況図」について、ご意見、ご要望などありましたら、下記までお知らせ下さい

水産技術研究所 054-627-1817（資源海洋研究室、普及室）

メールアドレス suishi@shizuokanet.ne.jp



高精度海況図